

令和3年度相談支援部会の総括について

1 令和3年度相談支援部会の目指すべき方向性と課題

(1) 目指すべき方向性

障がい児（者）や、家族が抱える日常生活の困りごと相談への対応のため、相談支援事業者が中心となり、以下に掲げる課題に取り組む。

- ア 障がい児（者）の生活課題の整理と検討
- イ 社会資源の検証・開発
- ウ 困難事例の協議
- エ サービス等利用計画等の作成にあたってのスキルアップ
- オ 虐待相談に関する協議

(2) 令和3年度の課題

- ア 精神障がい者への対応について
- イ 研修会の開催について
- ウ 困難事例対応および課題解決に向けた事例検討について
- エ 事業所一覧の更新
- オ その他、部会で検討が必要と判断した事項

2 協議の成果

(1) 精神障がい者への対応について

精神障がい者への対応については、特定非営利活動法人秋田けやき会の副理事長から当事者家族としての想いや経験、団体の活動と効果について等を講話していただいたほか、秋田県発達障害者支援センターふきのとう秋田の相談員からは発達障がいについて、秋田大学医学部附属病院地域医療患者支援センター・がん相談支援センターの精神保健福祉士からは精神疾患についての特性や関わり方等を講話していただき、今後の対応方法について改めて確認し合い、共有化を図った。

(2) 研修会の開催について

例年、社会資源を活用しながら研修会を開催しているが、昨年度に引き続きコロナの影響により開催しなかった。

(3) 困難事例への対応および課題解決に向けた事例検討について

平成28年度から実施している事例検討会は、今年度も、部会年間のスケジュールに組み入れ実施してきた。具体的には、原則毎月開催される部会において、1時間ほどを事例検討の時間とし、事例を身体・知的・精神・児童の4分野に分け、併せて委員等を、所属する事業所の特徴から、先の4分野（4グループ）に分類し、毎回1グループの中の1事業所から事例提供していただき、参加者全員で検討を重ねてきた。今年度は、身体障がい、知的障がいおよび児童の分野から各1事例ずつの計3事例について検討を行った。

各分野の様々な事例について検討を重ねてきたことで、委員等でもある相談支援専門

員のスキルアップにつながり、ひいては、本市の相談支援体制の強化にもつながる良い機会となっている。

(4) 事業所一覧の更新

秋田市HPで公表している障害福祉サービス等事業所一覧を最新にするため、市に情報提供した。

(5) その他

相談支援部会は各相談支援事業所に所属する委員のほか、協力員として市内全ての相談支援事業所が関わっていることから、相談支援業務に関する情報交換・情報共有の場として活用し、横の連携と知識の向上に努めた。

3 今後の部会での協議等について

平成30年に作成した課題提言分類表に基づき、令和4年度は以下の課題について検討したい。

(1) 自然災害等への対応

平成26年に相談支援部会で作成した「災害時アクションプラン」は、災害発生時に行政と障害福祉サービス事業所、相談支援事業所の三者の初動体制のガイドラインを示すとともに、秋田市内の指定避難施設や福祉避難所における各種設備について掲載した手引きであるが、作成から8年経過し、内容の見直しを行い、新たなアクションプランを作成していきたい。

(2) 研修会の開催（継続）

障がい福祉に関わる職員のスキルの向上、他分野領域との連携につながる研修会の開催に向け、昨年度実施したアンケート調査を活用し協議を行うこととしたい。

令和4年度は、研修の場を確保するとともに、地域共生社会の実現に向けて、相談支援専門員の周知と多職種連携の構築に向け、連携を図って行きたい。

(3) 困難事例に対する検討について（継続）

困難事例への対応を積み重ねて行くことで、地域における福祉サービスや社会資源の評価につながるとともに、今後、市が整備していくべきサービス等も見えてくると思われる。

そのため、引き続き、定期的な事例検討を行い、各相談支援事業所が抱えている疑問点について協議を行い、障がい種別ごとの対応等について課題解決への糸口を見出していくこととしたい。

【参考】令和3年度の開催状況

令和3年	9月14日（火）	合同部会
	10月20日（水）	第1回相談部会
	11月24日（水）	第2回相談部会
	12月15日（水）	第3回相談部会
令和4年	1月19日（水）	第4回相談部会

※各部回の前に運営会議を開催

※2月に開催を予定していた第5回相談部会は市内での新型コロナウイルス感染症発生状況から中止